

子どもの中耳炎

中耳炎は、幼稚園児ぐらいいまでによくみられる病気です。しかし、「子どもの中耳炎はよくある病気だから」と軽く見てしまうのは禁物です。適切な治療をしないと、治るまでに時間がかかったり、何回も繰り返したり、ときには重症化してしまうこともあるからです。

耳がいたいよー



◎風邪から中耳炎に!

中耳炎は、鼓膜のある「中耳」という部分が炎症を起こす病気です。子どもに多くみられる中耳炎は、細菌やウイルスに感染して発症します。風邪をひき、鼻やのどの炎症に続いて起こることが多く、高熱や耳の痛みなどの症状があらわれ、耳だれが出ることもあります。急性中耳炎の治療の基本は、抗菌薬の飲み薬です。きちんと治療すれば、多くの場合は1～2週間で完治します。

風邪かなあ?
中耳炎かなあ?



◎中耳炎を繰り返すと聞こえにくくなる!

急性中耳炎を繰り返したり、途中で治療をやめたりすると「滲出(しんじゅつ)性中耳炎」に移行してしまうこともあります。滲出性中耳炎は、耳管や中耳の粘膜からしみ出た滲出液が中耳にたまる病気で、発熱や耳の痛みといった症状はないものの、耳の聞こえが悪くなることが特徴です。治療には抗菌剤や滲出液を外に出しやすくする薬を使用し、通常は1カ月ほどで治りますが、長引く場合は数年かかることもあります。

「風邪で熱が出たと思っていたら、実は中耳炎を起こしていた」というケースも少なくありません。判断に迷ったときは、まずはかかりつけの小児科医に相談してみることをおすすめします。